

郡山市簡易水道事業経営戦略

団 体 名 : 郡山市

事 業 名 : 簡易水道事業(湖南東部簡易水道・湖南西部簡易水道・熱海中山簡易水道)

策 定 日 : 令和 4 年 3 月

計 画 期 間 : 令和 4 年度 ~ 令和 13 年度

1. 事業概要

(1) 事業の現況

① 給水

供用開始年月日	平成 6 年 2 月 21 日	計画給水人口	5,850 人
法適(全部・財務) ・非適の区分	※ 令和4年4月1日 法全部適用	現在給水人口	3,249 人
		有収水量密度	0.0016 千m ³ /ha

② 施設

水 源	[] 表流水, [] 井水, [] 休流水, [] 地下水, [] 湧水, [] その他 (複数選択可)		
施 設 数	浄水場設置数	3	管 路 延 長 65.5 千m
	配水池設置数	3	
施 設 能 力	2,961 m ³ /日	施 設 利 用 率	37.9 %

③ 料金

料 金 体 系 の 概 要 ・ 考 え 方	現行の料金体系は別紙「簡易水道料金表」のとおり。 現行の体系となったのは平成11年度の料金改定からであり、以降は消費税のみの改定である。 平成11年当時の簡易水道料金審議会において『物価の変動、さらには施設整備に伴い、市價の償還金が増加し経営を圧迫し、一般会計からの繰入金が増加している現状を十分に勘案すると、値上げもやむを得ない』との答申が示されたことを受け、当時の上水道料金の50%まで引き上げることとした(改定前に比べ約1.3倍の水準)。		
料 金 改 定 年 月 日 (消費税のみの改定は含まない)	平成 11 年 10 月 1 日		

④ 組織

*環境部環境政策課(簡易水道事業の総括に関する事、予算・決算に関する事、簡易水道料金審議会に関する事等):職員1名(専任:湖南・熱海中山・中田簡易水道事業)	
*湖南行政センター(施設の維持管理に関する事、料金の徴収・収納に関する事、緊急時の対応に関する事等):職員3名(専任)	
*熱海行政センター(湖南行政センターと同):職員1名(他業務と兼務)	
*上下水道局浄水課(施設の衛生管理・拡張・改良工事に関する事、認可申請の手続きに関する事等):職員1.5名(湖南・熱海中山・中田簡易水道事業:郡山市長から上下水道事業管理者へ事務を委託)	

(2) これまでの主な経営健全化の取組

経営健全化を図るため、これまで以下のとおり取組を進めてきた。 ◆地方公営企業法の適用:令和4年4月1日の法適用に向けて、平成29年度~30年度にかけて固定資産台帳を整備した。資産・負債等のストック情報等経営状況を的確に把握するため、固定資産台帳を基に予定開始貸借対照表等財務諸表を整理した。 ◆簡易水道料金改定:持続可能な経営を確保するため、平成30年度~令和元年度にかけて簡易水道料金審議会を開催し、適正な料金のあり方について審議を行った。令和元年9月の審議会答申を踏まえ、令和4年度から10年間をかけて段階的に料金を改定することとした。改定に向けて住民の理解を得るため、令和3年度には対象地区で説明会を開催し、概ね住民の理解を得ることができた。 ◆上下水道局への事務一元化:効率的な事業経営のため、環境政策課・行政センター・上下水道局と3つの部局にまたがっている事務体制を令和4年4月1日に上下水道局へ一元化することとし、各種協議・調整等を進めてきた。専門的な知識や技術を持った上下水道局に事務を一元化することで、これまでより一層安全安心な水道水を安定的に供給するための体制を充実させる。

*1「広域化」とは、①事業統合、②経営の一体化、③管理の一体化、④施設の共同化をいい、それぞれの内容は以下のとおりである。なお、将来の広域化に向けた他団体との勉強会の設置や人事交流等について説明すべきものがあればその内容も記載すること。
①経営主体も事業も一つに統合された形態、②経営主体は一つだが、認可上、事業は別の形態、③維持管理業務や総務系の事務処理などを共同実施あるいは共同委託等により実施する形態、④浄水場、配水池、水質試験センターなどの施設を共同保有する形態

(3) 経営比較分析表を活用した現状分析

※ 直近の経営比較分析表(「公営企業に係る「経営比較分析表」の策定及び公表について(公営企業三課室長通知)」による経営比較分析表)を添付すること。

別紙「経営比較分析表」のとおり。

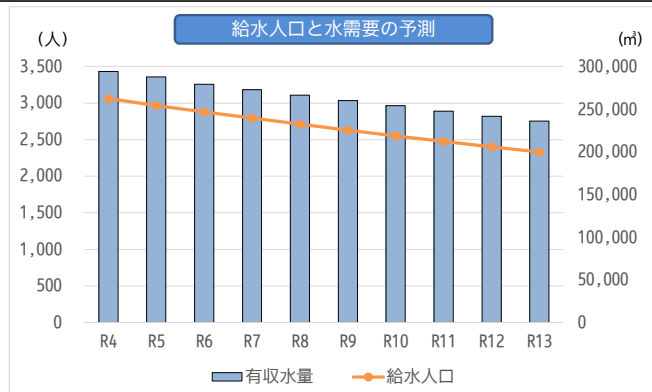
2. 将来の事業環境

(1) 給水人口の予測

給水人口の予測については、別紙「投資・財政計画」のとおり。
・直近5年間の給水人口推移を基に、平均増減率を用いて算出した。
・今後も減少傾向が続くと予測し、10年間で約23.8%減少すると見込んでいる(R4予測:3,061人 → R13予測:2,331人 比較:△730人(△23.8%))

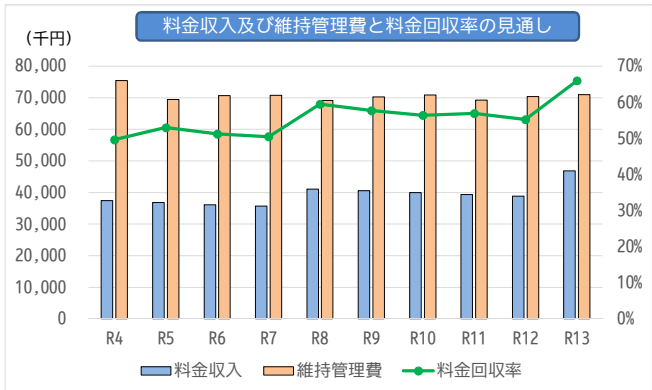
(2) 水需要の予測

水需要(有収水量)の予測については、別紙「投資・財政計画」のとおり。
・直近5年間の有収水量推移を基に、平均増減率を用いて算出した。
・給水人口の減少に伴い有収水量も減少が見込まれる。
今後10年間で約19.8%減少すると予測する。
(R4予測:294,070m³ → R13予測:235,934m³ 比較:△58,136m³(△19.8%))



(3) 料金収入の見通し

料金収入の見通しについては、別紙「投資・財政計画」のとおり。
・給水人口及び水需要の減少に伴い、料金収入も減少傾向が見込まれる。
・令和4年度から10年間をかけて段階的に行う料金改定による増収分を見込んでいる。
・令和13年度までの10年間で、維持管理費(原浄水及び配給水費、業務費、総係費、職員給与費の合計)に対する料金回収率は16.4ポイントの改善を見込んでいる。
⇒ R4 料金収入:37,397千円 維持管理費:75,399千円 維持管理費に対する料金回収率:49.6%
R13 料金収入:46,829千円 維持管理費:70,968千円 維持管理費に対する料金回収率:66.0%



(4) 施設の見通し

本市簡易水道施設については平成6年から平成11年にかけて整備したものであり、配水管の法定耐用年数が40年であることを踏まえると施設の大規模更新は早くても令和15年から令和20年頃となる見通しである。
計画期間内にはポンプ設備や水位計等、比較的法定耐用年数が短い機械装置類の更新を行う。
なお、法定耐用年数に達しない施設であっても、当該施設の使用状況等を踏まえ、必要に応じて改良・更新を検討する。

(5) 組織の見通し

簡易水道に関する事務は、現在環境政策課・行政センター・上下水道局と3つの部局にまたがっており、それぞれ職員が専任もしくは他業務との兼務で事務を担当している。
令和4年4月には上下水道局への事務一元化を行い、水道に関する専門的な知識や技術を持った職員による給水体制を構築できるほか、各部局にまたがっていた事務を集約することで効率的な事業経営が可能となる。

3. 経営の基本方針

人口減少により水道料金収入も減少傾向にある中、近い将来には施設の老朽化が進み、改良・更新に多額の費用を要することが見込まれ、本市簡易水道事業を取り巻く経営環境は一層厳しさを増していくことが予測される。

このような状況の中、今後も将来にわたり安全安心な水道水を安定的に供給していくため、本市簡易水道事業は令和4年4月1日に地方公営企業法を適用することとした。法の適用により資産・負債等のストック情報等を明らかにすることで経営状況を的確に把握し、財務マネジメントを向上させることで経営基盤の強化を図る。

また、法の適用と併せて簡易水道料金の改定を行い、安定的な収入を確保することで持続可能な経営を図る。料金改定は郡山市簡易水道料金審議会の答申を踏まえ、令和4年度から10年間をかけて引き上げる。なお、改定後の料金は現行と比較して約1.7倍の水準となるが、水道使用者への負担を軽減するため、激変緩和措置を設定し、3段階の料金改定とする。

加えて、より安全安心な水道水を供給するため、現在環境政策課・行政センター・上下水道局と3つの部局にまたがっている簡易水道に関する事務を、令和4年4月1日に上下水道局へ一元化する。一元化により、水道に関する専門的な知識や技術を持った職員による給水体制を構築するほか、事業経営を効率化し、併せてお客様サービスの向上を図る。

これら地方公営企業法適用、料金改定及び事務一元化を一体的に実施するとともに、投資・財政計画に基づく経営戦略を策定することで更なる経営基盤の強化を図り、将来にわたる安全安心な水道水の供給を実現する。

なお、事業の運営に当たっては、誰もが安心して暮らせる持続可能なまちづくり実現のための目標である「SDGs」の取組みを考慮するとともに、効率的・効果的な事業経営のためにDXの推進を積極的に行う。

4. 投資・財政計画(収支計画)

(1) 投資・財政計画(収支計画)：別紙のとおり

(2) 投資・財政計画(収支計画)の策定に当たっての説明

① 収支計画のうち投資についての説明

目 標	施設の法定耐用年数に基づき、計画的な更新を行う。
-----	--------------------------

【年度別投資(施設拡張改良費)計画額】

- 令和4年度 13,200千円(湖南西部配水池流量計更新工事等 7,600千円、熱海中山配水池取水流量計更新工事等 5,600千円)
- 令和5年度 12,700千円(湖南西部水源地位計更新工事等 7,900千円、熱海中山配水池配水流量計更新工事等 4,800千円)
- 令和6年度 17,400千円(湖南東部水源地位塩素減菌機更新工事等 12,100千円、熱海中山配水池水位計更新工事等 5,300千円)
- 令和7年度 6,600千円(湖南西部水源地位塩素減菌機更新工事等 6,100千円、熱海中山配水池加圧タンク圧力計更新工事 500千円)
- 令和8年度 1,700千円(湖南東部水源地位塩素注入ポンプ更新工事等 1,700千円)
- 令和9年度 7,900千円(湖南東部水源地位取水流量計更新工事 1,900千円、熱海中山配水池残留塩素測定計更新工事 6,000千円)
- 令和10年度 3,600千円(湖南東部水源地位サンプリングポンプ更新工事等 3,600千円)
- 令和11年度 3,800千円(湖南東部配水池水位計更新工事等 2,700千円、熱海中山配水池非常通報装置更新工事 1,100千円)
- 令和12年度 5,300千円(湖南東部水源地位水位計更新工事等 3,300千円、熱海中山配水池警報設定器更新工事 2,000千円)
- 令和13年度 5,200千円(湖南東部水源地位取水ポンプ更新工事等 4,200千円、熱海中山水源地位取水流量計更新工事 1,000千円)

② 収支計画のうち財源についての説明

目 標	令和4年度から料金改定を行うことで、自己財源の安定的な確保に努める。
-----	------------------------------------

令和4年度から10年間をかけて、3段階の料金改定を行う。これにより、維持管理費に対する料金回収率は令和13年度までに16.4ポイント改善する見込みである。

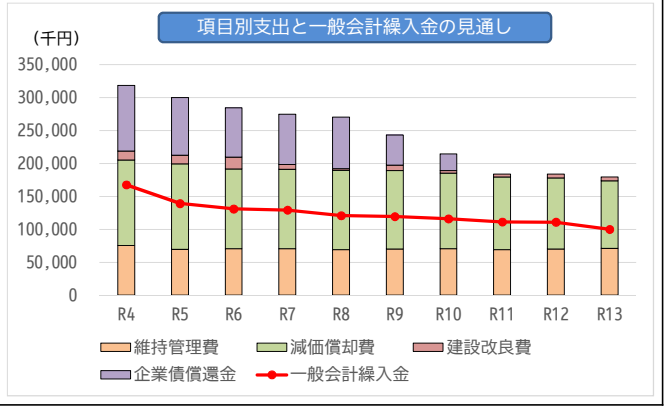
⇒ R4 料金収入:37,397千円 維持管理費:75,399千円 維持管理費に対する料金回収率:49.6%

R13 料金収入:46,829千円 維持管理費:70,968千円 維持管理費に対する料金回収率:66.0%

また、総務省繰出基準に基づき毎年度の企業債元利償還金に対しては一般会計繰入金を一定額繰り入れる。

支出総額に対し水道料金等収入及び基準内繰入金を充ててもなお不足する分に対しては、基準外一般会計繰入金により補てんする。

なお、基準外繰入金は可能な限り圧縮できるよう、事務の効率化と経費節減に取り組むこととする。



③ 収支計画のうち投資以外の経費についての説明

投資以外の維持管理に係る経費について、主な内容は施設修繕費、施設保守点検業務委託料、料金関係包括的業務委託料、職員給与費等である。

施設修繕費については、経年劣化に伴う機械設備の修繕や漏水修繕に係る費用を見込んでいます。

施設保守点検業務委託料については、機械設備・計器類の定期的な保守点検業務委託等に係る費用を見込んでいます。

職員給与については、専任の職員4名分を想定している。

料金関係包括的業務委託料については、上下水道局への事務一元化に伴い、各行政センターが直営もしくは業務委託で行っていた料金徴収・収納業務、窓口業務、滞納整理業務、検針業務等を包括的に委託するものである。これにより、簡易水道地区の料金関係業務についても上水道地区と一体的に行うことで効率的な事業運営が可能となるほか、コンビニやクレジットカード、スマホアプリ等料金支払い方法が拡充されることで住民サービスの向上が図られる。

(3) 投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要

※ 投資・財政計画(収支計画)に反映することができなかった検討中の取組や今後検討予定の取組について、その内容等を記載すること。
 また、(1)において、純損益(法適用)又は実質収支(法非適用)が計画期間内の最終年度で黒字とならず、赤字が発生している場合には、赤字の解消に向けた取組の方向性、検討体制・スケジュール等について記載する必要があること。

① 投資について検討状況等

民間の資金・ノウハウ等の活用 (PFI・DBOの導入等)	上水道事業の取組みを踏まえながら検討する。
施設・設備の廃止・統合 (ダウンサイジング)	給水人口等の動向を注視しながら、今後の水需要の予測を踏まえ、施設のあり方について検討する。
施設・設備の合理化 (スペックダウン)	給水人口等の動向を注視しながら、今後の水需要の予測を踏まえ、施設のあり方について検討する。
施設・設備の長寿命化等の 投資の平準化	大規模更新に伴う投資の平準化及び予防保全型維持管理による長寿命化等の促進について検討する。
広域化	-
その他の取組	-

② 財源について検討状況等

料 金	-
企業債	施設の大規模更新を行う際は、元利償還金に係る一般会計繰入金に対する地方交付税措置を念頭に企業債の借入について検討する。
繰入金	-
資産の有効活用等(*2)による 収入増加の取組	上水道事業の取組みを参考としながら資産の有効活用方法について検討する。
その他の取組	-

*2 遊休資産の売却や貸付、債券運用の導入、小水力発電や太陽光発電など

③ 投資以外の経費についての検討状況等

委託料	上下水道局への事務一元化に伴い、これまで地区ごと(湖南・熱海中山)に契約していた業務委託の一括発注による経費節減方策等について検討する。
修繕費	上下水道局への事務一元化に伴い、これまで地区ごと(湖南・熱海中山)に契約していた施設修繕の一括発注による経費節減方策等について検討する。
動力費	-
職員給与費	-
その他の取組	-

5. 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項

経営戦略の事後検証、 更新等に関する事項	経営戦略と実績との乖離が著しい場合や、戦略の前提となる経営、財政の条件が大幅に変更となった場合は、適宜戦略の見直し等について検討する。 見直しに当たっては、戦略と実績との乖離及びその原因を分析するとともに、「計画策定(Plan)－実施(Do)－検証(Check)－見直し(Action)」のサイクルを活用するほか、必要に応じて上下水道事業経営審議会において意見を伺った上で改定を行う。
-------------------------	---

郡山市簡易水道事業 投資・財政計画（湖南・熱海中山 合算）10年間

事業の推計表	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
	令和3年度 (当初予算)	令和4年度 (計画)	令和5年度 (計画)	令和6年度 (計画)	令和7年度 (計画)	令和8年度 (計画)	令和9年度 (計画)	令和10年度 (計画)	令和11年度 (計画)	令和12年度 (計画)	令和13年度 (計画)
給水戸数(戸)	1,356	1,346	1,334	1,326	1,317	1,307	1,298	1,289	1,280	1,270	1,261
給水人口(人)	3,156	3,061	2,967	2,878	2,794	2,711	2,630	2,551	2,476	2,403	2,331
総給水量(m)	393,103	382,791	374,180	364,764	355,738	345,983	337,264	328,834	320,452	312,263	304,233
有収水量(m)	300,209	294,070	287,675	279,164	272,800	266,419	260,140	253,846	247,580	241,710	235,934
有収率(%)	76.4%	76.8%	76.9%	76.5%	76.7%	77.0%	77.1%	77.2%	77.3%	77.4%	77.6%

【料金改定率】 (現行) (現行×1.2) (現行×1.2) (現行×1.2) (現行×1.2) (現行×1.4) (現行×1.4) (現行×1.4) (現行×1.4) (現行×1.4) (現行×1.7)

※令和3年度は法適用前(収益的収支は税込)、令和4年度以降は法適用後として計画を作成している。

(単位:千円)

科目		令和3年度 (当初予算)	令和4年度 (計画)	令和5年度 (計画)	令和6年度 (計画)	令和7年度 (計画)	令和8年度 (計画)	令和9年度 (計画)	令和10年度 (計画)	令和11年度 (計画)	令和12年度 (計画)	令和13年度 (計画)
収益的収支(税抜)	収入											
	給水収益	34,690	37,397	36,803	36,157	35,703	41,117	40,537	39,955	39,388	38,853	46,829
	その他の営業収益	19	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48
	簡易水道加入金	102	94	190	190	190	190	190	190	190	190	190
	他会計補助金	30,790	152,293	137,466	130,073	129,243	120,748	119,558	116,084	111,348	110,863	100,036
	雑収	29	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
	他会計負担金	640	596	596	596	96	96	96	96	96	96	96
	長期前受金戻入		33,505	33,505	31,442	31,184	31,184	30,815	29,929	29,278	28,718	27,415
	特別利益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	取崩	66,270	223,943	208,618	198,516	196,474	193,393	191,254	186,312	180,358	178,778	174,624
	支出											
	原浄水及び配給水費	23,920	27,647	21,800	22,844	23,383	21,820	22,865	23,405	21,841	22,887	23,427
	業務費	4,087	6,828	6,828	6,828	6,328	6,328	6,328	6,328	6,328	6,328	6,328
	総係費	1,996	2,149	2,083	2,183	2,242	2,173	2,277	2,338	2,266	2,374	2,438
	職員給与費	15,914	38,775	38,775	38,775	38,775	38,775	38,775	38,775	38,775	38,775	38,775
	減価償却費		129,573	129,893	120,775	120,347	120,651	118,928	114,183	110,237	107,503	102,745
	資産減耗費(現金以外)		862	862	862	862	862	862	862	862	862	862
資産減耗費(現金支出)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
支払利息	14,293	11,029	8,328	6,200	4,488	2,735	1,170	372	0	0	0	
消費税及び地方消費税	6,000											
特別損	60	7,080	49	49	49	49	49	49	49	49	49	
費用合計	66,270	223,943	208,618	198,516	196,474	193,393	191,254	186,312	180,358	178,778	174,624	
当期純利益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
資本的収支(税込)	収入											
	建設改良費等企業債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	出資	123,522	15,161	1,804	928	0	0	0	0	0	0	0
	工事負担金及び寄附金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	国庫補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	取崩合計	123,522	15,161	1,804	928	0	0	0	0	0	0	0
	支出											
	施設拡張改良費	14,472	13,200	12,700	17,400	6,600	1,700	7,900	3,600	3,800	5,300	5,200
	固定資産購入費	673	836	523	716	523	523	523	523	523	523	523
	職員給与費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
企業債償還金	108,377	99,329	87,033	74,654	76,366	78,119	45,496	25,292	0	0	0	
支出合計	123,522	113,365	100,256	92,770	83,489	80,342	53,919	29,415	4,323	5,823	5,723	
収支差引	0	△ 98,204	△ 98,452	△ 91,842	△ 83,489	△ 80,342	△ 53,919	△ 29,415	△ 4,323	△ 5,823	△ 5,723	
補てん財源	消費税資本的収支調整額		1,274	1,202	1,647	647	202	765	375	393	530	520
	損益勘定留保資金		96,930	97,250	90,195	82,842	80,140	52,876	29,040	3,930	5,293	5,203
	利益剰余金処分等		0	0	0	0	0	278	0	0	0	0
	補てん財源計	0	98,204	98,452	91,842	83,489	80,342	53,919	29,415	4,323	5,823	5,723
過不足額(単年度)	0	0	0	0	7,183	10,189	35,821	56,076	77,891	74,354	70,989	
財源繰越額	0	0	0	0	7,183	17,372	53,193	109,269	187,160	261,514	332,503	

企業債残高	486,289	386,960	299,927	225,273	148,907	70,788	25,292	0	0	0	0
-------	---------	---------	---------	---------	---------	--------	--------	---	---	---	---

○一般会計繰入金

区分	令和3年度 (当初予算)	令和4年度 (計画)	令和5年度 (計画)	令和6年度 (計画)	令和7年度 (計画)	令和8年度 (計画)	令和9年度 (計画)	令和10年度 (計画)	令和11年度 (計画)	令和12年度 (計画)	令和13年度 (計画)
収益的収支分	30,790	152,389	137,466	130,073	129,243	120,748	119,558	116,084	111,348	110,863	100,036
うち基準内繰入金	7,217	5,666	4,204	3,127	2,262	1,378	589	187	0	0	0
うち基準外繰入金	23,573	146,723	133,262	126,946	126,981	119,370	118,969	115,897	111,348	110,863	100,036
資本的収支分	123,522	15,161	1,804	928	0	0	0	0	0	0	0
うち基準内繰入金	54,690	11,629	1,736	928	0	0	0	0	0	0	0
うち基準外繰入金	68,832	3,532	68	0	0	0	0	0	0	0	0
一般会計繰入金合計	154,312	167,550	139,270	131,001	129,243	120,748	119,558	116,084	111,348	110,863	100,036

郡山市簡易水道事業 投資・財政計画（湖南）10年間

事業の推計表	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
	令和3年度 (当初予算)	令和4年度 (計画)	令和5年度 (計画)	令和6年度 (計画)	令和7年度 (計画)	令和8年度 (計画)	令和9年度 (計画)	令和10年度 (計画)	令和11年度 (計画)	令和12年度 (計画)	令和13年度 (計画)
給水戸数(戸)	1,287	1,277	1,266	1,258	1,249	1,240	1,231	1,222	1,213	1,204	1,195
給水人口(人)	2,995	2,901	2,809	2,722	2,639	2,557	2,477	2,400	2,326	2,254	2,184
総給水量(m)	381,625	371,516	363,087	353,797	344,902	335,303	326,737	318,451	310,205	302,154	294,263
有収水量(m)	289,234	283,179	276,834	268,383	262,091	255,976	249,800	243,613	237,464	231,722	226,084
有収率(%)	75.8%	76.2%	76.2%	75.9%	76.0%	76.3%	76.5%	76.5%	76.6%	76.7%	76.8%

【料金改定率】 (現行) (現行×1.2) (現行×1.2) (現行×1.2) (現行×1.2) (現行×1.4) (現行×1.4) (現行×1.4) (現行×1.4) (現行×1.4) (現行×1.7)

※令和3年度は法適用前(収益的収支は税込)、令和4年度以降は法適用後として計画を作成している。

(単位:千円)

科目		令和3年度 (当初予算)	令和4年度 (計画)	令和5年度 (計画)	令和6年度 (計画)	令和7年度 (計画)	令和8年度 (計画)	令和9年度 (計画)	令和10年度 (計画)	令和11年度 (計画)	令和12年度 (計画)	令和13年度 (計画)
収益的収支(税抜)	収入											
	給水収益	33,526	36,154	35,614	35,004	34,596	39,882	39,347	38,809	38,284	37,793	45,591
	その他の営業収益	16	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43
	簡易水道加入金	51	47	95	95	95	95	95	95	95	95	95
	他会計補助金	26,527	143,593	128,963	121,860	120,678	112,547	111,134	107,779	103,589	102,849	92,195
	雑収益	29	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
	他会計負担金	640	596	596	596	96	96	96	96	96	96	96
	長期前受金戻入		32,721	32,721	30,756	30,510	30,510	30,141	29,255	28,604	28,044	26,769
	特別利益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	取崩益合計	60,789	213,164	198,042	188,364	186,028	183,183	180,866	176,087	170,721	168,930	164,799
	支出											
	原浄水及び配給水費	19,359	23,797	18,207	19,079	19,529	18,224	19,097	19,548	18,242	19,116	19,567
	業務費	3,967	6,477	6,477	6,477	5,977	5,977	5,977	5,977	5,977	5,977	5,977
	総係費	1,858	2,008	1,946	2,039	2,094	2,030	2,127	2,184	2,117	2,218	2,278
	職員給与費	15,914	38,775	38,775	38,775	38,775	38,775	38,775	38,775	38,775	38,775	38,775
	減価償却費		123,798	123,798	115,192	114,563	114,840	113,117	108,628	105,006	102,240	97,598
	資産減耗費(現金以外)		565	565	565	565	565	565	565	565	565	565
	資産減耗費(現金支出)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	支払利息	13,641	10,674	8,235	6,198	4,486	2,733	1,169	371	0	0	0
消費税及び地方消費税	6,000											
特別損費用合計	60,789	213,164	198,042	188,364	186,028	183,183	180,866	176,087	170,721	168,930	164,799	
当期純利益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
資本的収支(税込)	収入											
	建設改良費等企業債出資金	109,355	7,781	0	872	0	0	0	0	0	0	0
	工事負担金及び寄附金											
	国庫補助金											
	取崩合計	109,355	7,781	0	872	0	0	0	0	0	0	0
	支出											
	施設拡張改良費	7,300	7,600	7,900	12,100	6,100	1,700	1,900	3,600	2,700	3,300	4,200
	固定資産購入費	673	523	523	523	523	523	523	523	523	523	523
	職員給与費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	企業債償還金	101,382	92,037	83,985	74,398	76,110	77,863	45,239	25,035	0	0	0
支出合計	109,355	100,160	92,408	87,021	82,733	80,086	47,662	29,158	3,223	3,823	4,723	
収支差引	0	△ 92,379	△ 92,408	△ 86,149	△ 82,733	△ 80,086	△ 47,662	△ 29,158	△ 3,223	△ 3,823	△ 4,723	
補てん財源	消費税資本的収支調整額		737	766	1,148	602	202	220	375	293	348	429
	損益勘定留保資金		91,642	91,642	85,001	82,131	79,884	47,442	28,783	2,930	3,475	4,294
	利益剰余金処分額等		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	補てん財源計	0	92,379	92,408	86,149	82,733	80,086	47,662	29,158	3,223	3,823	4,723
過不足額(単年度)	0	0	0	0	2,487	5,011	36,099	51,155	74,037	71,286	67,100	
財源繰越額	0	0	0	0	2,487	7,498	43,597	94,752	168,789	240,075	307,175	

企業債残高	474,667	382,630	298,645	224,247	148,137	70,274	25,035	0	0	0	0
-------	---------	---------	---------	---------	---------	--------	--------	---	---	---	---

○一般会計繰入金

区分	令和3年度 (当初予算)	令和4年度 (計画)	令和5年度 (計画)	令和6年度 (計画)	令和7年度 (計画)	令和8年度 (計画)	令和9年度 (計画)	令和10年度 (計画)	令和11年度 (計画)	令和12年度 (計画)	令和13年度 (計画)
収益的収支分	26,527	143,689	128,963	121,860	120,678	112,547	111,134	107,779	103,589	102,849	92,195
うち基準内繰入金	6,867	5,473	4,150	3,126	2,261	1,377	588	186	0	0	0
うち基準外繰入金	19,660	138,216	124,813	118,734	118,417	111,170	110,546	107,593	103,589	102,849	92,195
資本的収支分	109,355	7,781	0	872	0	0	0	0	0	0	0
うち基準内繰入金	50,999	7,781	0	872	0	0	0	0	0	0	0
うち基準外繰入金	58,356	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般会計繰入金合計	135,882	151,470	128,963	122,732	120,678	112,547	111,134	107,779	103,589	102,849	92,195

郡山市簡易水道事業 投資・財政計画（熱海中山）10年間

事業の推計表	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
	令和3年度 (当初予算)	令和4年度 (計画)	令和5年度 (計画)	令和6年度 (計画)	令和7年度 (計画)	令和8年度 (計画)	令和9年度 (計画)	令和10年度 (計画)	令和11年度 (計画)	令和12年度 (計画)	令和13年度 (計画)
給水戸数(戸)	69	69	68	68	68	67	67	67	67	66	66
給水人口(人)	161	160	158	156	155	154	153	151	150	149	147
総給水量(m)	11,478	11,275	11,093	10,967	10,836	10,680	10,527	10,383	10,247	10,109	9,970
有収水量(m)	10,975	10,891	10,841	10,781	10,709	10,443	10,340	10,233	10,116	9,988	9,850
有収率(%)	95.6%	96.6%	97.7%	98.3%	98.8%	97.8%	98.2%	98.6%	98.7%	98.8%	98.8%

【料金改定率】 (現行) (現行×1.2) (現行×1.2) (現行×1.2) (現行×1.2) (現行×1.4) (現行×1.4) (現行×1.4) (現行×1.4) (現行×1.4) (現行×1.7)

※令和3年度は法適用前(収益的収支は税込)、令和4年度以降は法適用後として計画を作成している。

(単位:千円)

科目		令和3年度 (当初予算)	令和4年度 (計画)	令和5年度 (計画)	令和6年度 (計画)	令和7年度 (計画)	令和8年度 (計画)	令和9年度 (計画)	令和10年度 (計画)	令和11年度 (計画)	令和12年度 (計画)	令和13年度 (計画)
収益的収支(税抜)	収入											
	給水収益	1,164	1,243	1,189	1,153	1,107	1,235	1,190	1,146	1,104	1,060	1,238
	その他の営業収益	3	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	簡易水道加入金	51	47	95	95	95	95	95	95	95	95	95
	他会計補助金	4,263	8,700	8,503	8,213	8,565	8,201	8,424	8,305	7,759	8,014	7,841
	雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	他会計負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	長期前受金戻入		784	784	686	674	674	674	674	674	674	646
	特別利益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	取崩合計	5,481	10,779	10,576	10,152	10,446	10,210	10,388	10,225	9,637	9,848	9,825
	支出											
	原浄水及び配給水費	4,561	3,850	3,593	3,765	3,854	3,596	3,768	3,857	3,599	3,771	3,860
	業務費	120	351	351	351	351	351	351	351	351	351	351
	総係費	138	141	137	144	148	143	150	154	149	156	160
職員給与費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
減価償却費		5,775	6,095	5,583	5,784	5,811	5,811	5,555	5,231	5,263	5,147	
資産減耗費(現金以外)		297	297	297	297	297	297	297	297	297	297	
資産減耗費(現金支出)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
支払利息	652	355	93	2	2	2	1	1	0	0	0	
消費税及び地方消費税												
特別損失	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	
費用合計	5,481	10,779	10,576	10,152	10,446	10,210	10,388	10,225	9,637	9,848	9,825	
当期純利益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
資本的収支(税込)	収入											
	建設改良費等企業債出資	14,167	7,380	1,804	56	0	0	0	0	0	0	0
	工事負担金及び寄附金											
	国庫補助金											
	取崩合計	14,167	7,380	1,804	56	0	0	0	0	0	0	
	支出											
	施設拡張改良費	7,172	5,600	4,800	5,300	500	0	6,000	0	1,100	2,000	1,000
	固定資産購入費	0	313	0	193	0	0	0	0	0	0	0
	職員給与費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	企業債償還金	6,995	7,292	3,048	256	256	256	257	257	0	0	0
支出合計	14,167	13,205	7,848	5,749	756	256	6,257	257	1,100	2,000	1,000	
収支差引	0	△ 5,825	△ 6,044	△ 5,693	△ 756	△ 256	△ 6,257	△ 257	△ 1,100	△ 2,000	△ 1,000	
補てん財源												
消費税資本的収支調整額		537	436	499	45	0	545	0	100	182	91	
損益勘定留保資金		5,288	5,608	5,194	711	256	5,434	257	1,000	1,818	909	
利益剰余金処分等		0	0	0	0	0	278	0	0	0	0	
補てん財源計	0	5,825	6,044	5,693	756	256	6,257	257	1,100	2,000	1,000	
過不足額(単年度)	0	0	0	0	4,696	5,178	△ 278	4,921	3,854	3,068	3,889	
財源繰越額	0	0	0	0	4,696	9,874	9,596	14,517	18,371	21,439	25,328	
企業債残高	11,622	4,330	1,282	1,026	770	514	257	0	0	0	0	

○一般会計繰入金

区分	令和3年度 (当初予算)	令和4年度 (計画)	令和5年度 (計画)	令和6年度 (計画)	令和7年度 (計画)	令和8年度 (計画)	令和9年度 (計画)	令和10年度 (計画)	令和11年度 (計画)	令和12年度 (計画)	令和13年度 (計画)
収益的収支分	4,263	8,700	8,503	8,213	8,565	8,201	8,424	8,305	7,759	8,014	7,841
うち基準内繰入金	350	193	54	1	1	1	1	1	0	0	0
うち基準外繰入金	3,913	8,507	8,449	8,212	8,564	8,200	8,423	8,304	7,759	8,014	7,841
資本的収支分	14,167	7,380	1,804	56	0	0	0	0	0	0	0
うち基準内繰入金	3,691	3,848	1,736	56	0	0	0	0	0	0	0
うち基準外繰入金	10,476	3,532	68	0	0	0	0	0	0	0	0
一般会計繰入金合計	18,430	16,080	10,307	8,269	8,565	8,201	8,424	8,305	7,759	8,014	7,841

○別紙「簡易水道料金表」

(1) 令和4年5月までの各月分として徴収する料金

メーター口径	準備料金 (税抜)	水量料金 (税抜)
13ミリメートル	530円	1立方メートルから20立方メートルまで 1立方メートルにつき 50円 20立方メートルを超えるもの 1立方メートルにつき 105円
20ミリメートル	1,435円	
25ミリメートル	2,350円	
40ミリメートル	7,200円	
50ミリメートル	10,650円	
75ミリメートル	26,600円	

(2) 令和4年6月から令和8年5月までの各月分として徴収する料金

メーター口径	準備料金 (税抜)	水量料金 (税抜)
13ミリメートル	630円	1立方メートルから20立方メートルまで 1立方メートルにつき 60円 20立方メートルを超えるもの 1立方メートルにつき 120円
20ミリメートル	1,720円	
25ミリメートル	2,820円	
40ミリメートル	8,640円	
50ミリメートル	12,780円	
75ミリメートル	31,920円	

(3) 令和8年6月から令和13年5月までの各月分として徴収する料金

メーター口径	準備料金 (税抜)	水量料金 (税抜)
13ミリメートル	780円	1立方メートルから20立方メートルまで 1立方メートルにつき 70円 20立方メートルを超えるもの 1立方メートルにつき 150円
20ミリメートル	2,150円	
25ミリメートル	3,520円	
40ミリメートル	10,800円	
50ミリメートル	15,970円	
75ミリメートル	39,900円	

(4) 令和13年6月からの各月分として徴収する料金

メーター口径	準備料金 (税抜)	水量料金 (税抜)
13ミリメートル	970円	1立方メートルから20立方メートルまで 1立方メートルにつき 80円 20立方メートルを超えるもの 1立方メートルにつき 180円
20ミリメートル	2,680円	
25ミリメートル	4,400円	
40ミリメートル	13,500円	
50ミリメートル	19,960円	
75ミリメートル	49,870円	

経営比較分析表（令和2年度決算）

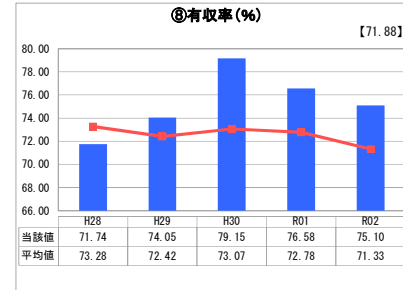
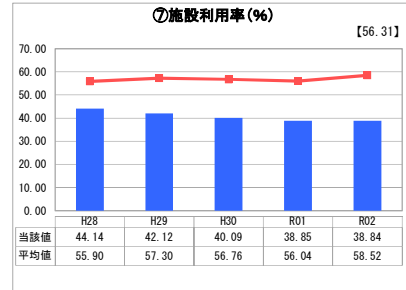
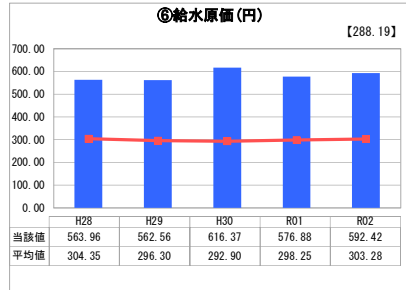
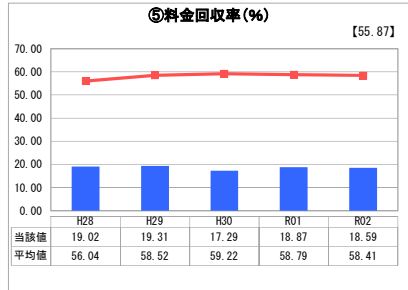
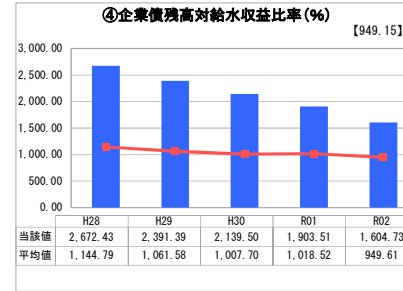
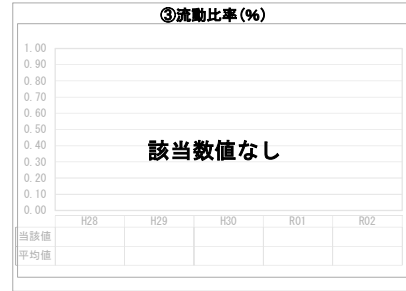
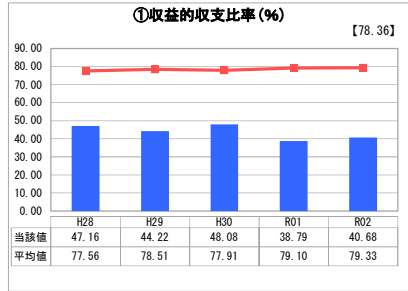
福島県 郡山市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	1.10	1,683	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
321,394	757.20	424.45
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
3,522	246.23	14.30

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
□	令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 料金収入の低さ及び地方債償還金額の高さが比率の低さに大きく影響しているため、水道料金の改定等による給水収益の改善が必要と考えられる。

④ 地方債現在高はピーク時より大幅に減少しているものの、収益額が低いため、類似団体と比較して依然高い比率となっている。給水収益の改善のため、水道料金の改定等が必要と考えられる。

⑤ 料金回収率は横ばいで推移しており、類似団体と比較して依然低い数値となっている。給水原価に対して供給単価が非常に低い割合であることから、水道料金の改定等が必要と考えられる。

⑥ 令和2年度は施設修繕費等の費用増に伴い給水原価は上昇した。依然として原価は類似団体平均値よりも高く、その差も拡大しているため、更なる費用削減に向けた取組みが必要である。

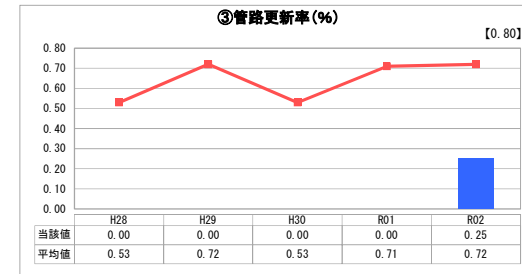
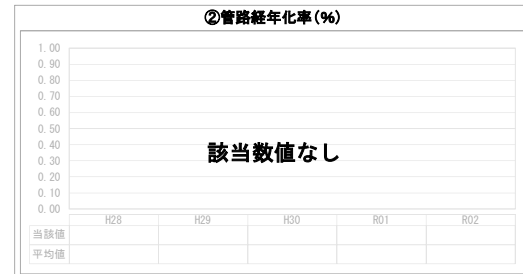
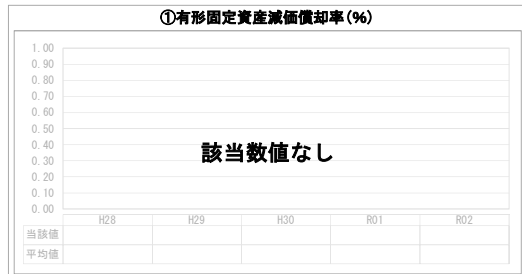
⑦ 人口減少に伴い、一日の平均配水量も併せて減少傾向にあるが、大型連休や盆などの特定時期に配水量が増加することもあるため、現時点で施設の規模は現状維持とするが、施設を更新する際には、利用状況等を踏まえ、適正な規模を検討していく。

⑧ H27年度以降、漏水調査・修繕を実施し、有収率は改善傾向にあったものの、令和元年度から令和2年度にかけて不明水量の増加等により減少に転じている。今後は不明水対策も含めた有収率向上策を検討する必要がある。

2. 老朽化の状況について

管路は平成5年度以降に設置したものが多く、更新に伴う財源の確保が難しいことから、個別修繕により対応していたが、今後は中長期的経営見通しを踏まえた適切な投資により計画的に更新を実施していく。

2. 老朽化の状況



全体総括

有収率を除き、各数値とも類似団体平均より悪化している状況にあるため、更なる費用削減へ向けた取組みと併せ、特に水道料金の見直しによる給水収益の改善が必要である。また、老朽化等による管路や施設の更新等は今後の経営状況を踏まえ、計画的に実施していかなければならない。

このような状況を踏まえ、令和4年度から料金改定を実施し、10年間をかけて事業の維持管理費を定める水準まで段階的な見直しを行うことで料金収入の安定的な確保を図る。また、併せて令和4年度から地方公営企業法を適用することで、資産・負債等のストック情報を的確に把握し、加えて中長期的な視点に基づく経営戦略の策定等を通じ、経営基盤の強化と財務マネジメントの向上を図る。

料金改定と法適用を一体的に実施することで経営状況の改善を図り、「安全な水道水の安定した供給」を将来にわたり持続可能なものとしていく。